

次号予告

特集 サブプライムローン問題

- マクロ経済インバランスとサブプライム金融危機木村俊夫 (住友信託銀行)
証券化商品とサブプライムローン問題室町幸雄 (首都大学東京)
サブプライム・ローンによる金融危機と金融工学澤木勝茂 (南山大学)
ヘッジ・ファンドと金融危機福原正大 (パークレイズ・グローバル・インベスターズ)
グローバル金融危機後のプロシクリカリティに関する議論の進展北野利幸 (あずさ監査法人)

編集後記

- 音楽は芸術の一分野に含められ、その評価には「心揺さぶられる」「心地よい」「厳しい」といった定量化できない修飾語が数多く使われています。
- 20世紀の後半に現代音楽で活躍した作曲家にイアニス・クセナキスという人がいます。ほとんどの方は名前も聞いたことがないかと思いますが、作曲家になる前は、かの、ル・コルビュジエの下で建物の設計に携わっていました。彼は実験的な作曲を1950年代から始め、60年代にかけてStochastic Musicという分野を確立しました。彼のPithopraktaは、日本語では「確率による行為」となり、その名が示すように統計手法によって音列を数学的に管理しようという曲です。いわゆる商業音楽に慣れている方には決して聞き

やすくはないでしょうが、聞いてみると結構その迫力に圧倒されます。

●また、ジャズやポップス音楽の楽譜を見ると、和音の進行を示す「コード」があり、コードに沿って演奏されます。どのようにコードを進行するかはバークリーメソッドとしても知られているavailable note scaleによって説明できます。これは、音楽の流れに方法論的なフレームワークを与え、いわば科学的に音楽を解析しようという大系です。

●ところで、あるヴァイオリニストは「効率的でない弾きにくい運指でも、それをあえて必死にさらいからこそ感動を生む！」と言います。アートかサイエンスか？音楽の行く末はどこでしょう。(生田目 崇)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 (独建築研究所), 尾崎尚也 (財鉄道総合技術研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ビー・エム(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子, 栗田佳文 (防衛省), 高野正次 (日本電信電話(株)), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高嶋隆太 (千葉工業大学), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財電力中央研究所), 豊泉 洋 (早稲田大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株東芝), 増田浩通 (千葉工業大学), 八木恭子 (東京大学), 渡邊 勇 (財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成21年9月号 第54巻 第9号 通巻585号

代表者 伏見 正 則

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧本直樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ